

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

経皮経肝胆嚢ドレナージランデブー法による内視鏡的経乳頭的胆嚢ステント留置術の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2025 年 1 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日に昭和医科大学藤が丘病院で急性胆石性胆嚢炎に対して経皮経肝胆嚢ドレナージ (PTGBD) ランデブー法を用いて内視鏡的経乳頭的胆嚢ステント留置術 (EGBS) を行った患者さん

2. 研究目的・方法

急性胆嚢炎に対する治療として、全身状態や併存疾患などの理由から手術リスクが高い患者に対しては、PTGBD が標準的な治療選択肢の一つとして推奨されています。しかし、PTGBD を抜去した後に胆嚢炎が再発することがあります。その予防法の一つとして、EGBS がありますが、胆嚢管への挿管が困難な場合があり、手技成功率が課題となっています。そのような症例に対する救済的治療として、PTGBD ルートを利用したランデブー法を併用した EGBS が報告されています。しかし、PTGBD ランデブー法を用いた EGBS の治療成績や安全性については、十分に明らかになっていません。そこで本研究では、PTGBD ランデブー法を用いた EGBS の手技成功率や偶発症率などの治療成績を明らかにすることを目的としました。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、身体所見、転帰、既往歴・併存疾患、内服歴、血液検査所見、画像検査所見

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学藤が丘病院 氏名 浅見哲史

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院消化器内科 氏名：浅見哲史

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-967-0349